

2026 年 03 月 吉日

お客様各位

一般財団法人日本食品分析センター

ヨウ素の測定における主な分析方法変更のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、分析試験項目「ヨウ素」の分析サービスの内容を下記のとおり変更しますのでご案内いたします。今後とも技術向上に注力し、皆様に高品質のデータをご提供できるよう、努力を重ねて参ります。

敬 具

記

1. 概要

分析技術の発展に伴い、食品表示基準では、従前の分析方法(滴定法、ガスクロマトグラフ法)に加え、より高感度な測定が可能な ICP 質量分析法が追加されています。それに伴い弊財団は食品及び飼料中のヨウ素の測定につきまして、主たる分析方法を ICP 質量分析法に変更いたします。

2. 変更の詳細（検体種、定量下限、分析方法および料金）

【変更前】

検体種	定量下限	分析方法	料金(税別)
一般食品	500 µg/100g	ガスクロマトグラフ法 (または ICP 質量分析法)	9,500 円
	50 µg/100g		16,000 円
粉乳	10 µg/100g	ICP 質量分析法	21,000 円
一般食品	5 µg/100g		
経腸栄養剤, 経口流動食	1 µg/100g		
一般食品	1 µg/100g		26,000 円
飼料	5 mg/kg	ガスクロマトグラフ法 (または ICP 質量分析法)	9,500 円
ペットフード	0.01 mg/100g		16,000 円

【変更後】

検体種	定量下限※	分析方法	料金(税別)
一般食品	50 µg/100g	ICP 質量分析法	17,600 円
一般食品, 粉乳	5 µg/100g		23,100 円
一般食品, 経腸栄養剤, 経口流動食	1 µg/100g		28,600 円
飼料	0.5 mg/kg	ガスクロマトグラフ法 (または ICP 質量分析法)	17,600 円
ペットフード	0.01 mg/100g		

※：定量下限 500 µg/100g, 5 mg/kg は廃止になります。

3. 変更開始日

2026 年 04 月 01 日受付分より*

* 受付した旨のご連絡（預り証）をもって受託としております。

<お問合せ先>

一般財団法人日本食品分析センター ミネラル分析課

Mail : iodine_toiwase@jfri.or.jp

以 上

20260302